

美しい山形・最上川フォーラム平成 29 年度通常総会 議事録

日 時：平成 29 年 6 月 28 日（水）13：30～15：00

場 所：山形県庁 1001 会議室

1. 開会

司会（一般財団法人山形県理化学分析センター 松本さん）

それでは定刻となりましたので、始めさせていただきます。

本日はご多用のところお集まりいただきまして、ありがとうございます。ただ今より、平成 29 年度美しい山形・最上川フォーラム通常総会を開会いたします。私は本総会の司会を務めさせていただきます、一般財団法人山形県理化学分析センターの松本と申します。どうぞよろしく願います。

はじめに、会長の柴田洋雄から、ご挨拶申し上げます。

2. 会長あいさつ

（柴田会長）

こんにちは。暑い中ご出席いただきましてありがとうございます。また駐車場の関係で会場がなかなか不安であったのですが、県庁のご厚意によりましてこの会場を使わせていただきました。たぶん皆さん、車で来ても駐車は可能だったのではないかと思います。助かりました。県庁の関係の皆さんに心から御礼申し上げます。ありがとうございます。

このフォーラムは 17 年目になりますが、発足の時に「100 年プラン」ということで、100 年かけて山形の環境や地域の元気さを確保するという形で始めました。ですので、普通の団体なら 17 年という長いと思われませんが、フォーラムにとってはまだまだヨチヨチ歩きみたいな感じがしております。これから 80 年以上続けなくてはならないとなると、日本の高齢化社会問題以上に皆さんのご協力がないと維持できないのではないかと考えています。ぜひ本日の協議にも積極的なご意見をいただいて、元気をいつまでも持てるようなフォーラムにしていだければと思っております。

このフォーラムは「100 年プラン」にありますように山形県内の清流を確保する、水環境を守るということで、環境に注目しております。その時に単に水環境を守るということだけではなく、地域が元気でないと守れないのではないかとということで、地域活性化、特に経済的な元気が必要なので、経済活動にも関心を持っているわけです。また、「100 年プラン」と言われるように長く続けるためには人が育ってこないといけない。そこで我々とすれば、小中高生、子供達にも積極的に活動に参加していただいて、継続できるような形でもっていきたいと感じているところです。そういう意味で、非常に幅広く山形を考えたフォーラムの活動になっているわけですが、このようなことができるのは、先ほどお世話になった県もそうですが、国の機関、県・市町村という行政機関から全面的に協力していただいているからです。市町村は 35 市町村全てがメンバーに入っていております。「スポ GOMI 大会」などフォーラムの活動をしようとしたときに、市町村の協力を得やすいと感じております。それから、各種団体から協力していただいております。

団体の活動の中にフォーラムの活動の趣旨を活かしてもらいながら進めていっていただくということがあります。それから法人会員は、特にフォーラム立ち上げの段階から金融機関からの協力が非常に強いです。山形県内に本店がある金融機関からこれまでは4月、5月の2か月間会員募集など、全面的に活動に協力いただいています。我々の活動は4,000会員くらいのメンバーがいるわけですが、水環境や地域を元気にしようという活動をしている団体として、他の地域からの我々を見る目は金融機関が中心になってメンバーになっているという点で、他の団体と違うことで高い評価をいただいております。このようなことで、金融機関始め、建設業界、製造メーカー、いろいろな商店街の人たちなどから協力をいただいているという意味で、法人のご協力も大きいです。何といっても一番の協力になるのは住民の方で、現在でも3,700人くらいの方がメンバーに入っております。これは先ほど言いました金融機関や企業の方からメンバーに入っていることが多く、一番の土台になっているのは、県民の方々でないのかと感じております。我々がフォーラムを進めていくうえで、常に県民の視点に立って進めていこうとすれば、会員の方々から大きなクレームはつかないのではないかと考えているところです。そういう意味でも、今年の総会も県民の視点からの持続可能な活動を今後とも進めていこうということを提案しますので、皆さんからも積極的な意見をいただければありがたいと思っています。本日の総会よろしくご協力いただきますようますようお願いいたします。以上です。

司会（松本さん）

会長、ありがとうございます。

ここで、美しい山形・最上川フォーラム顧問であります、吉村美栄子山形県知事よりご挨拶を頂戴したいと存じます。山形県観光文化スポーツ部松田次長よりご披露お願いいたします。

ご挨拶披露（松田次長）

本日は総会の開催、誠にありがとうございます。ただいま県議会開催中でございまして、顧問の吉村県知事、運営委員であります観光文化スポーツ部の大澤部長も議会出席中でございますので、私、次長の松田でございますが、代わって知事よりご挨拶を承ってまいりましたので、代読させていただきます。

美しい山形・最上川フォーラム平成29年度通常総会の開催にあたりまして、ひとことご挨拶を申し上げます。

フォーラムにおかれましては、「美しい山形・最上川100年プラン」のもと、母なる川「最上川」を美しい山形づくりのシンボルに掲げ、水環境の保全や川が育む文化の継承、さらには最上川を地域の活性化につなげる事業を県全体で活発に進めてこられました。会員の皆様におかれましては、「自然と文明が調和した新理想郷山形」を後世に引き継ぐために日々ご尽力をいただいております。深く感謝の意を表する次第です。

さて、フォーラムが川と海をつなぐ美しい元気な山形づくりとして取り組まれている「スポGOMI大会」や「身近な川や水辺の健康診断」は、企業や民間団体、学校、行政など様々な関係者の連携によりまして、多くの県民の皆さんからご参加をいただいているところであり、まさに「県民総活躍」で地域の課題を解決する「協働」の代表例となっております。本県では、今年7月に

「南東北インターハイ」、そして来年2月には、東北で初めてとなる「国連世界観光会議」が開催されますが、国内外から本県を訪れていただく方々に、皆様が守り育てられている山形の美しさや魅力を大いにアピールしてまいりたいと考えております。

結びに、次代を担う子どもたちや若者たちに美しい山形と最上川を残していくため、これからも力強い活動が展開されることを期待いたします。そして皆様のご活躍を心から祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

平成29年6月28日、美しい山形・最上川フォーラム顧問 山形県知事 吉村美栄子 代読

司会（松本さん）

松田次長、ありがとうございます。

次に本日出席の役員を紹介いたします。名簿順にご紹介いたします。

（役員を紹介）

また、本日は県の関係の機関の方々にもご出席いただいております。

ここで山形県観光文化スポーツ部松田次長につきましては、公務により退席いたします。

それでは次第に従いまして、進めてまいります。総会の議長は、規約第10条第3項の規定により、会長が行うことになっております。柴田会長、議長席へお願いいたします。

3. 議事

議長（柴田会長）

しばらくの間、議長を務めさせていただきます。ご協力をお願いします。

本日は総会の次第にありますように、議事が1号から4号まで4つあります。順番に進めさせて提案していただき皆さんのご意見を賜りたいと思っております。議事を円滑に進めることと、後ほどの記録の関係で、発言の際は挙手をいただき、その場に立っていただいておりますようお願いいたします。

次に議事を取りまとめる際の確認の議事録署名人の指名を行いたいと思っております。指名方法について何かご意見はございませんでしょうか。

（会場提案なし）

もしなければ、事務局からご提案させていただいてよろしいでしょうか。

（会場拍手）

事務局（伊藤事務局長）

それでは、議事録署名人につきましては、麻生賢一さんと齋藤眞知子さんを提案いたします。

議長（柴田会長）

今、事務局から麻生さんと齋藤さんの提案がありました。このお二人でよろしいでしょうか。

（会場拍手）

議長（柴田会長）

それでは麻生さんと齋藤さん、よろしく願いいたします。

議長（柴田会長）

それでは次第3の議事に入ります。

（1）平成28年度事業報告及び決算案

第1号議案の平成28年度事業報告・決算案について、各部長からその場で説明をお願いします。それでは清流・環境対策部会から順にお願いいたします。

菅原部会長

それでは清流環境対策部会から平成28年度部会事業実施状況についてご報告申し上げます。最初の文を読み上げます。

「身近な川や水辺の健康診断」は、大人数の小学校からの参加申し込みと調査サポートの要請があり、各地域の会員等の協力のもと要請に応え、参加人数の増加へも繋がった。「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」「捨てない・すてさせない in 最上川」によるゴミ発生源対策は、「スポGOMI大会」の開催を通して、クリーンアップキャンペーンとのコラボレーションイベント等での同時開催の継続や中高生等のリピーターの参加も増加し、取組みが広まっている。あわせて従来から実施している「身近な川や水辺の健康診断」参加の小学校等で海岸漂着物問題啓発の出張講座を行うなど、「海岸漂着物問題対策」を全県で展開し、さらなる普及啓発に努めた。

「もがみがわ水環境発表会」では、ワークショップ形式の意見交換会を初めて取り入れ、参加者同士がより活発に交流できた発表会となった。」

以下6つの大まかな事業についてご報告申し上げます。一つ、「第15回身近な川や水辺の健康診断」です。一斉調査期間が平成28年6月4日から6月12日までです。学校などで調査の場合は7月29日まで行っております。主な調査内容は、透視度計による透視度調査、パックテストによるpH、COD、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、リン酸性リンについて測定いたしております。CODについては国土交通省と市民団体が連携して実施する「身近な水環境の全国一斉調査」がございますが、その一環として実施して、調査結果50地点分を提出いたしております。次の調査内容が水辺環境です。ゴミや川の中や水辺の生きもののすみ場の様子などの簡易目視調査を行っております。従来から行っております水生生物調査については、山形県環境科学研究センター様と連携して、希望グループについては「身近な川や水辺の健康診断」との同時申込みが可能のようにしております。参加申込みは92団体・1,208名・235箇所です。調査実施結果は89団体・1,123名・257箇所です。年度別実施状況はパワーポイントにあるとおりです。また、事業にご支援をいただいております。パックテストと比色カードについては、国土交通省東北地

方整備局山形河川国道事務所様、酒田河川国道事務所様、新庄河川事務所様よりご支援いただいております。ありがとうございます。また公定法調査につきまして、計量証明機関、ここにございますとおり7事業所様よりご協力いただいております。ありがとうございます。参加者への現地調査サポートを行っております。希望のあった団体からの要請に応えまして各地域部会、会員専門機関のご協力により、15団体に事前指導や現地にてサポートを行っております。協力会員等は、山形県水質保全協会様、しらかサイエンスクラブ様、心のふるさと新井田川の会様、山形県環境科学研究センター様、村山地域部会様でございます。調査結果は年度末に向けて平成27年度に引き続き、公益社団法人山形県水質保全協会様の協力をいただいてレーダーチャートを作成しております。それをホームページ上で「笑顔を写す山形の川」という形で掲載しております。概要版として全県のデータを1枚の河川地図上にまとめたものを印刷して、あわせてフォーラムホームページ上に「水辺水質マップ」として掲載いたしております。調査を実施いたしました小学校へは、総合学習等の参考にしていただけるように、調査結果報告書を受け取り後早めにレーダーチャートを作成して送付させていただいております。二つ目が「第14回美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」です。実施期間は8月～10月までです。調査実施結果は53団体・2,246名の参加をいただいております。データカード作成に協力いただいたグループの活動経費の一部を支援するために、一律3,000円の補助をいたしております。活動の効率化を図るため、参加申込状況や調査結果をホームページの「最上川環境マップ」へ掲載し、随時更新いたしております。地域別・県全体の集計結果をホームページへ掲載いたしております。また、クリーンアップ全国事務局にデータを提供しております。これは全国・国際レベルの研究データとしても活用し、また全国川ごみネットワーク主催の「全国水辺のごみ調査」へも情報を提供いたしております。イベントとのコラボレーションを行っており、「AQUA SOCIAL FES!!2016 キレイな最上川を未来に」山形新聞社との共催で、第1回が6月11日、第2回が9月24日に行っております。「ふれんどしっぷ水辺の郷サミット」は9月6日に、中山町三郷堰頭首工最上川右岸河川敷で「スポGOMI大会」と同時に行っております。三番目は「ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」です。「スポGOMI大会」を平成25年度から継続して、海岸漂着物問題対策の普及啓発として県内各地で実施しております。次に海岸漂着物問題普及啓発として、「身近な川や水辺の健康診断」に参加する小・中・高校生等、11団体に対して出張講座を、平成28年度河北町衛生指導員研修会にて、佐竹村山地域部会長が「環境にやさしい暮らしの工夫～家庭でできる環境保全～」と題し講演、「もがみがわ水環境発表会」では「スポGOMI大会の実施状況」としてポスター発表に参加、最上小国川清流未来振興機構まちカフェにて大泉清流・環境対策部会副部会長がスポGOMI等の事例報告を行っております。次に海岸漂着物問題対策との連携として、6月17日、12月12日に山形県海岸漂着物対策推進協議会に出席いたしております。川ごみ団体との連携では、「全国川ごみネットワーク」の会員として情報共有などを図っており、「全国川ごみネットワーク」総会・理事会へ柴田会長出席、京都府亀岡市にて3月4日開催された「川ごみサミット」へ柴田会長参加いたしております。「クリーンアップキャンペーン」の結果を「全国水辺のごみ調査」へ提供いたしております。次にホームページ「最上川環境マップ」の整備ですが、クリーンアップ活動の効率化を図るため、「クリーンアップキャンペーン」、「スポGOMI大会」の実施予定日程、場所、結果をマップに掲載し、随時更新し、「身近な川や水辺の健康診断」の調査結果は「水辺水

質マップ」としても掲載しております。事業の4「第12回もがみがわ水環境発表会」を実施し、県内各地において水環境向上の活動に取り組む個人・団体・学校・研究機関が、日ごろの活動や研究成果を発表いたしております。実行委員による2回の運営準備会議で実施詳細を決定し、11月5日、山形県産業創造支援センター多目的ホール及びマルチメディアホールで開催いたしました。こちらは、山形県水質保全協会様、理研分析センター、大岩環境技術士事務所様、山形県計量協会環境計量証明部会様、山形県浄化槽工業協会様、山形県理化学分析センター様より協賛いただいております。山形県教育委員会様、山形県生涯学習文化財団様、ほか報道機関18社様より後援いただいております。実行委員としては清流・環境対策部会、国土交通省山形河川国道事務所、酒田河川国道事務所、新庄河川事務所、山形県です。口頭発表セッションが8団体、ポスターセッションが11団体発表を行っております。基調講演として、NPO「ブナの森」代表の長岡昇様より「インドの川、日本の川」という題名でいただき、そのあとワークショップ形式で意見交換会を実施いたしました。講演要旨集を作成し、カラー版をフォーラムホームページに掲載いたしております。事業の5「報告書「笑顔を写す山形の川」」は「身近な川や水辺の健康診断」、「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」の結果等の報告書を作成し、冊子での印刷から変更し、デジタルブック形式でホームページ上に掲載、「身近な川や水辺の健康診断」は全県データを1枚にまとめた概要版のみ印刷させていただいております。事業の6「広報啓発」として、環境展のブースに出展し、清流・環境対策部会事業及び当フォーラムの活動の広報、環境保全の啓発に努めました。9月25日（日）「環境フェアつるおか2016」、11月19日（土）～20日（日）「やまがた環境展2016」に参加いたしております。以上、平成28年度の事業報告でございます。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。続きまして、最上川文化・地域活性化部会からお願いします。

本間部会長

部会長を仰せつかっております本間でございます。着座でご説明させていただきます。本部会の事業は8項目ありますが、はじめに冒頭の部分についてご説明を申し上げます。

「最上川夢の桜街道づくり」は維持管理等の相談があった市町村に樹木医を派遣し、調査・相談による継続的な支援を行っております。桜の維持管理を行う「桜守」育成強化のため「桜守養成講座」を開催し、規定の座学・実習を修了した方へは、認定書を発行。隔年開催している写真コンテストは「第3回やまがた水辺の四季写真コンテスト」として実施いたしております。「地域おこしの紙芝居作成」は地域部会を中心に地域おこし協力隊員等と協力し、白鷹町で「紙芝居ワークショップ」を開催いたしました。地域の桜にまつわる話をもとに地元中学生たちが紙芝居を作成。写真コンテスト開催や紙芝居作成等県内各地の絵になる風景や隠れた名所、地域の資産・文化の再発見、掘り起こしにより、郷土愛を育む取り組みの推進を図っております。

事業の第一、「最上川夢の桜街道づくり」でございますが、相談のあった米沢市、天童市の2市に対して、樹木医の山田寛爾先生を派遣して現地にて調査、桜と桜の育成にかかわる周辺樹木の調査・指導を行い、維持管理を推進しております。桜守育成のための研修会をさらに広げ、桜守の養成のため、地域部会等と連携して「桜守養成講座」を開催。座学・実習を規定の時間受講

した方に対しては、認定書を発行いたしました。講師は樹木医の山田寛爾先生です。本日後ろの席にいらっしゃいますが、これから米沢市の桜についての相談で、中座されます。樹木医についての質問は、山田先生がいないと受けられないものですから、先生がおられなくなった場合は、事務局まで後日電話を入れていただければありがたいと思っております。研修会は4月17日、上山市でかみのやま羽州桜の会と共催しております。また11月12日、20日に金山町で開催し、それぞれ認定書を発行させていただきました。二つ目の事業、「東日本大震災復興支援プロジェクト」であります。「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」ということで、「東北・夢の桜街道推進協議会」主催の「“美しき桜心の物語”の語り会」ですが、福島県の三春で第1回目を行いまして、28年の第5回目は秋田県角館で行いました。この物語の語り部はNHK元アナウンサーの平野啓子さんという方です。7月27日、盛岡市「アイーナいわて県民情報交流センター」にて「東北・夢の桜街道推進協議会」平成28年度総会を行っております。協議会メンバーが一同に集結しました。「東北夢の桜街道」に寄付をいただいた、山形信用金庫様の春のクリーンアップ活動にフォーラムにて参加して、上山城のお城周辺のゴミを拾っております。平成29年4月15日に上山市で開催される「第6回“美しき桜心の物語”の語り会」の参加者を募集しました。29年度事業になりますが、約400名の方からお出でいただいて開催しております。次、三番目「夢の桜街道～さくら物語～」の発行であります。事業報告を主とした機関誌を冊子で差し上げておりましたが、予算の関係等がありまして、Web Paper として作成し、ホームページ上にデジタルブック形式で皆さんにご紹介しようということで、このような形をとらせていただいております。次、四番目「夢の桜街道キャンペーン」は4～5月にかけて協賛金融機関の協力により各支店で開催。会員拡大のため、会員募集のポスターの掲示や資料・啓発物品を配布いたしております。28年度の要望等を加味し、29年度の啓発物品の内容やキャンペーンポスターを検討し作成しております。次、「写真コンテスト受賞作品写真展」は4月9日～16日に上山市など、ご覧のとおり開催しました。次に写真展の中では、日本一の芋煮会フェスティバルの会場内「かわとびあ2016in山形」でも入賞作品を展示しております。次の事業、「写真コンテスト」は隔年開催している写真コンテストを、第3回やまがた「水辺の四季」写真コンテストとして実施いたしました。応募締切りが29年1月20日で、緑町会館で審査をさせていただきました。応募数が200点ほどありましたが、私共のPRも足りなかったのかという反省もあります。中高生からの応募作品は少し少なかったと感じております。審査会は1月27日に、県写真連盟会長の阿部さん、フリーアナウンサーの前川さんそして私の3人で審査をさせていただきました。表彰式は3月4日、文翔館において行いました。入賞作品は3月4日～9日に同じく「文翔館」ギャラリー6・7で展示を開催し、入場者は約380名となっております。七番目「ホームページの更新」であります。コンテンツを部会ごとに整理するなど、トップページのリニューアル、関連のあるものの相互リンクを張る等、より見やすいものに更新しておりますが、皆さんご覧になっていかがでしょうか。紙芝居等の紹介動画なども取り入れ、魅力あるものにして更新しているつもりです。八番目「地域おこしの紙芝居作成」であります。地域部会で行ってきた紙芝居をスキルアップしながら、地域を超えて繋ぐということで、置賜地域部会にて「紙芝居づくりワークショップ」を4月から定期的で開催しました。白鷹町立白鷹中学校の生徒が参加し作成し、出来上がった紙芝居は白鷹町蚕桑コミュニティセンター研修会にて3月5日にお披露目しております。今後は小学生への読み聞か

せなどにより地域資源として活用してまいります。以上報告申し上げます。

議長（柴田会長）

続きまして、地域部会等その他の事業につきまして伊藤さんからお願いします。

伊藤事務局長

地域部会でございますが、各地域部会が主体となり運営いたしております。地域の特性や会員のニーズを踏まえつつテーマを決め、研修会等を開催しております。実施に当たりましては、地域住民の方々や各種団体等が参加できるように配慮し、フォーラム活動に協力していただける団体とのネットワーク拡充を図っております。そして組織の強化を図るため必要な場合は、副部会長の導入を検討しております。

まず、置賜地域部会でございますが、紙芝居づくりワークショップの開催。「身近な川や水辺の健康診断」の指導・調査サポートを実施しております。それから、米沢市への国道から玄関にあたる最上川河川敷にヒマワリやコスモスを植栽しております。また、最上川文化交流会を「あゆ一む」で開催しております。

村山地域部会につきましては、桜の維持管理活動への協力しております。先ほど説明ありましたが、5月16日に佐竹部会長が「環境にやさしい暮らしの工夫～家庭でできる環境保全」と題して講演をいたしております。また「スポGOMI大会」運営スタッフとしての参加協力。「やまがた環境展2016」出展ブースにて、スタッフとして取り組んでおります。それから「身近な川や水辺の健康診断」の調査サポートを実施しております。

最上地域部会は「もがみの湧水調査会」を実施しております。本日も山形県の湧水のチラシがお手元に配られておりますが、連携してやっければ良いなと思っております。他に「遊学の森杯スポGOMI大会」を開催しました。「桜守養成講座研修会」を山田寛爾の指導のもとに実施しました。

庄内地域部会は「身近な川や水辺の健康診断」の調査サポートを鶴岡市、酒田市で実施しました。また、桜の育成維持管理活動として、幸福川や豊川つづみの桜の剪定作業や最上川堤防の桜並木2箇所について、いろいろな働きかけを行いました。他に庄内地方の桜の群生地を把握するために基本資料の調査・整理をしております。

それから、通常総会、運営委員会、合同部会につきましてはご覧のとおりです。

その他、委託事業・助成事業・連携事業などがございますが、まず一つは、「平成28年度川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務」で山形県循環型社会推進課様より受託しております。委託料は6,048,000円で、内容は「スポGOMI大会」開催、海岸漂着物問題普及啓発の実施です。それからやまがた社会貢献基金「団体支援助成事業」ということで、「水環境保全による美しい元気な山形づくり推進事業」で「もがみがわ水環境発表会」を開催しましたが、113,000円の助成、やまがた社会貢献基金「協働助成事業（テーマ希望型）」テーマ名：テルス（株）様、川と海をつなぐ美しい元気な山形づくり事業ということで、「美しい山形クリーン作戦！」として450,000円の助成をいただいております。一般社団法人全国浄化槽団体連合会様の水環境保全助成事業の助成200,000円です。「身近な川や水辺の健康診断」の実施です。山形信用金庫様の「東

北夢の桜街道」寄付金、100,000 円、山形県信用組合協会様の「もがみ川特別金利定期預金」寄付金、500,000 円、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様の eco 証券 Web 約款選択による寄付金 222,510 円をいただいております。その他、山形県海岸漂着物対策推進協議会への参加や「第 36 回全国豊かな海づくり大会」との連携、全国川ごみネットワークへの参加、「美しい多摩川フォーラム」との連携事業など実施しました。各種助成事業・基金への応募や寄付などの獲得、その活用を行いました。

議長（柴田会長）

ありがとうございます。これらの活動を行う上での平成 28 年度収支決算案についての説明を事務局からお願いいたします。

事務局（佐藤）

それでは事務局より平成 28 年度収支決算案をご説明いたします。まず収入の部は、会員の皆様からの会費収入が 5,755,820 円、県負担金 400,000 円、県からの委託事業の「川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務の委託料が 6,048,000 円、夢の桜街道積立金から 2,500,000 円、前年度からの繰越金が 275,920 円、諸収入としまして今助成事業で説明ありましたが、やまがた社会貢献基金の「団体支援助成事業」の助成が 113,000 円、同じくやまがた社会貢献基金の「協働助成事業（テーマ希望型）の助成が 450,000 円、「もがみがわ水環境発表会の協賛金」として 6 つの企業団体様のご支援 80,000 円、一般社団法人全国浄化槽団体連合会様の「水環境保全助成事業」の助成 200,000 円、山形信用金庫様の「東北夢の桜街道寄付金」100,000 円、山形県信用組合協会様の「もがみ川特別金利定期預金寄付金」500,000 円、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様の「eco 証券 web 約款寄付金」222,510 円の各ご支援と、預金利子などを合わせ 1,665,542 円で、収入の部合計が 16,645,282 円となっております。支出の部は、運営費が 9,133,530 円です。内訳につきましては①から⑤のとおりです。事業費は 4,848,936 円で、①から⑩の事業に充当し、各事業費はご覧のとおりとなっております。予備費といたしまして 3,324 円を「最上川流域地域づくり推進協議会」の会費として支出しております。他に、夢の桜街道への積立金が 2,500,000 円となっております。以上、支出額合計が 16,485,790 円で差引 159,492 円を平成 29 年度への繰越金とさせていただきます。また、各積立金につきましては、「フォーラム基盤強化積立金」の 28 年度の期末残高が 2,110,793 円、「夢の桜街道積立金」の 28 年度期末残高が 2,500,000 円となっております。

以上簡単ですが、収支決算案の説明を終わります。

議長（柴田会長）

この会計について監事の監査を受けております。監査結果についてのご報告お願いいたします。佐藤さんどうぞ。

監事（佐藤監事）

監事を務めております佐藤でございます。先日、平成 28 年度の証拠書類、関係書類を拝見させ

ていただきました。結果、相違なく正当と認めます。あわせまして事業の内容についても監査をさせていただきます。正当であることをここに認め報告いたします。以上でございます。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。1号議案についてこれまで説明がありました。そして監査報告もありましたが、これまでの説明についてみなさんからご意見、ご質問ありましたらご遠慮なくどうぞ。

（会場意見なし）

議長（柴田会長）

特にございませんでしょうか。

特になければ、異議がないということで、第1号議案「平成28年度事業報告及び決算案」については原案のとおり決定させていただくということによろしいでしょうか。

（会場拍手）

議長（柴田会長）

ありがとうございました。そのようにさせていただきます。

（2）平成29年度事業計画案及び予算案

議長（柴田会長）

次に第2号議案「平成29年度事業計画案及び予算案」についてです。「美しい元気な山形づくり」のもとに平成29年度も引き続き、環境保全と経済活動の活性化を両立させる活動を行うということを目指しておりますけれども、この活動を行う上での事務局体制は、昨年にも引き続き2名体制で運営していきたいと考えております。なお、事業計画ですが、期日が過去のものについては一部、実施済みということもありますので、ご了承ください。それでは順次、清流・環境対策部会から説明をお願いします。

菅原部会長

それでは、清流・環境対策部会から平成29年度事業計画案を説明いたします。最初の部分を読み上げさせていただきます。

「捨てない・すてさせない in 最上川」キャンペーンによるゴミ発生源対策は、平成25年度から取り組んで活発になっている「スポGOMI大会」を地域や企業と連携し継続実施する。この活動は「海岸漂着物問題対策」の啓発として、全県で展開していく。平成28年度同様、「身近な川や水辺の健康診断」「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」の報告書や機関誌「さくら物語」はデジタルブックとして、Webを活用した形で発行する。

最上川夢の桜街道づくりは、平成28年度同様、維持管理等の相談に樹木医を派遣するほか、桜守養成講座修了者への認定書の発行、交流会の開催等ネットワークづくりの支援に重点をおき、

継続する。また、「東日本大震災復興支援プロジェクト」による「“美しき桜心の物語”の語り会」の最終回となる第6回目を山形県上市市で開催する。隔年開催の舟運文化シンポジウムを白鷹町にて開催予定など、交流人口の増大を目指す。

発足当初から継続している事業の実施を基本とし、環境保全と地域経済活性化の両面から「美しい元気な山形づくり」に取り組みます。」

清流環境対策部会については、まず「1 第16回身近な川や水辺の健康診断」でございます。実施期間は6月3日から6月11日。学校などで調査の場合は7月28日まで延長いたします。参加を広報、目標として100グループ、調査地点数は250地点を想定いたしております。実施検討会を4月21日に開催し、実施体制など詳細について検討・決定いたしております。調査補助指導者の派遣としまして、新規参加者や学校などで参加する場合に、要望があれば地域部会や会員専門機関にご協力いただき、事前講習や現地調査補助を積極的に行うことしております。水生生物調査についても、主催の山形県環境科学研究センター様と連携し、希望グループについては、「身近な川や水辺の健康診断」との同時申込を可能として募集いたします。透視度計は例年どおり、各地域において貸出担当者・場所についてご協力をいただき、参加者からの申し込み順に貸出しております。調査結果集計は引き続き、山形県水質保全協会様のご協力をいただき、「水辺診断書」としてレーダーチャートを作成いたします。「2 第15回美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」は、参加グループ数が50～60グループ、1グループ当たり一律3,000円の支援費を想定いたしております。イベントとのコラボレーションを継続し、波及効果を狙います。山形新聞社との連携「AQUA SOCIAL FES!!2017」は、第1回目が6月17日、由良海岸でスポGOMI大会を同時開催、参加者は85名でございます。第2回が9月9日、道の駅「川のみなと長井」近隣最上川河川敷で行います。クリーンアップ全国事務局、全国川ごみネットワーク主催の「全国水辺のごみ調査」ヘデータを提供し、結果を共有いたします。「3 ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」」はまず、「スポGOMI大会」を継続実施いたします。28年度に引き続き海岸漂着物問題対策の普及啓発として、県内各地で市町村や地域の団体等と連携して開催いたします。現在、4月16日から10月28日までを予定しております。赤字で書いてある（10月7日河北町環境フェア、10月8日舟形町）のは追加になった大会でございます。海岸漂着物問題普及啓発として、「身近な川や水辺の健康診断」等の実施にあわせて、小中学生等に対して出張講座を10回以上予定いたしております。5月15日、河北町衛生指導員研修会にて、佐竹村山地域部会長が講演をいたしております。次に山形県海岸漂着物対策推進協議会との連携として、6月12日、総会に出席いたしております。川ごみ団体との連携として、「川ごみサミット」等への参加をいたします。ホームページ「最上川環境マップ」の整備としまして、「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」、「スポGOMI大会」の参加申込みや結果を随時更新し、実施場所の効率化を図ります。「4 報告書「笑顔を写す山形の川」」は28年度同様、冊子で作成していた報告書から変更し、「身近な川や水辺の健康診断」「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」の結果報告を作成し、ホームページにデジタルブックとして掲載し、Web上で報告いたします。「身近な川や水辺の健康診断」については、全県の結果を1枚の河川地図上にまとめた概要版を印刷し作成いたします。「5 広報啓発」として、環境展のブースへの出展等の機会を活用し、清流・環境対策部会事業や当フォーラムの活動の広報、環境保全の啓発に努めます。以上でございます。

議長（柴田会長）

続きまして、最上川文化・地域経済活性化部会をお願いします。

本間部会長

それでは、最上川文化・地域経済活性化部会からご説明、ご提案申し上げます。今年度も8項目ございますが、順を追って、説明させていただきます。「1 最上川夢の桜街道づくり」は維持管理等の相談に関して、全市町村から要望調査を行い、樹木医を派遣させていただく予定です。桜守育成のための研修会「桜守養成講座」を地域部会と連携して開催し、座学、実習を規定の時間受講した方に対しては認定証の発行を行います。4月12日、米沢市の有限会社厚生社で「桜守養成講座基礎編」を開催しております。また、11月5日、金山町で開催の予定です。桜守の関係ですが、よく昔から「桜切るバカ、梅切らぬバカ」と言われていますが、桜は切らないとダメだということもあります。テングス病に罹ってしまった場合の桜の切り方、これは一般の方も桜を見て注意すれば、切って管理できると思いますので関心を持っていただけたらと思っております。次に「最上川夢の桜街道づくり地域活動支援事業」や樹木医の相談等がかかわりのある団体・市町村との交流会を計画し、桜の時期に訪問するなど交流の機会を設けます。また、桜の研修会参加者等、地域で桜の維持管理活動をしている方々の全県的なネットワーク作りの支援を推進してまいりたいと思っております。4月15日、「上山桜の名所巡り研修」を開催いたしております。次に「2 東日本大震災復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヶ所巡り」」です。美しい多摩川フォーラムと連携し、「東北・夢の桜街道推進協議会」メンバーとして、桜をシンボルに東北の復興を目指した観光振興運動を行います。東北・夢の桜街道推進協議会主催の「第6回“美しき桜心の物語”の語り会」を先ほども申し上げましたが、4月15日、400名を集めて上市市「古窯」のコンベンションホールで開催いたしました。福島、宮城、岩手、青森、秋田とまわり、最後が山形だったわけです。これをもって最後なのかと思っておりますが、後で柴田会長からお話をいただければと思っております。「3 夢の桜街道～さくら物語～」は28年度と同様に、事業報告を主とした機関誌として作成し、Web Paper でホームページに掲載。「4 夢の桜街道キャンペーン」は4～5月にかけて協賛金融機関各支店で開催して、資料・啓発物品の配布を行っております。平成30年度の啓発物品は作成しない方針であります。「5 写真コンテスト受賞作品写真展」であります。これまでの写真コンテスト受賞作品を希望者に対して随時貸し出してまいります。桜の時期に合わせて、夢の桜街道写真コンテスト入賞作品の展示と、桜維持管理事業の啓発も兼ねた写真展を行ってまいります。3月31日～4月14日、上市市役所観光課ロビーにて、「桜と灯りの写真展」を開催いたしました。また、「かわとぴあ」などイベント会場での出展の機会を利用して展示をする予定であります。「6 舟運文化シンポジウム」は隔年開催をさせていただいておりますが、置賜地域部会等との共催により白鷹町にて、11月18日に開催をする予定です。「7 ホームページの更新」は動画などを取り入れ、活動予定、報告などを中心に随時更新してまいります。最後に「8 地域おこしの紙芝居作成」は、地域部会で行ってきた紙芝居をスキルアップしながら地域を越えて繋いでいきたいと思っております。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。続きまして地域部会等について伊藤さんからお願いします。

伊藤事務局長

それでは続きまして、地域部会に移ります。ほぼ前年と同様でございますが、全体的な活動と地域の活動を連携しながらやっていきます。

まず、置賜地域部会でございますが、舟運シンポジウムの共催は今お話があったとおりです。それから「身近な川や水辺の健康診断」の調査サポート等への協力です。

村山地域部会につきましては、桜の維持管理活動への協力ということで、既に実施しております。それから「スポ GOMI 大会」へのスタッフとしての参加協力、また「やまがた環境展」への出展のスタッフとして参加協力、「身近な川や水辺の健康診断」の現地調査サポートなどを行います。置賜地域部会との連携で紙芝居づくりワークショップへの参画。そして海岸漂着物問題啓発の一環として、河北町衛生指導員研修会にて5月15日に講演を行っております。

最上地域部会ですが、湧水地の標柱立てということで、古くなっているものもありますので立て直しをしております。それから「もがみの湧水調査会」の開催です。また、「スポ GOMI 大会」のスタッフとして参加協力をしております。「桜を守り育てる研修会」は11月5日に開催予定しております。

庄内地域部会ですけれども、「身近な川や水辺の健康診断」の調査サポート。それから「桜の維持管理研修会」の開催を検討しております。「スポ GOMI 大会」の開催協力予定です。

総会、運営委員会、部会につきましては今回の通常総会、運営委員会、合同部会を引き続き開催していきます。

その他でございますが、山形県委託事業「平成29年度川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務」を引き続き、受託しております。3,230,000円ほどの委託料です。それから、やまがた社会貢献基金「協働助成事業（テーマ希望型）」ですが、こちらも引き続きテルス様からの「川と海をつなぐ美しい元気な山形づくり事業」の助成430,000円が決定しております。それから記載に追加で、前年度に引き続きまして、山形信用金庫様より「東北夢の桜街道寄付金」といたしまして、100,000円の寄付金をいただいております。財政が非常に厳しい状況でございますので、今後とも寄付金等の獲得に頑張りたいと思っております。今後、やまがた社会貢献基金や水環境保全助成事業など、その他さまざまな助成を獲得できるよう検討して参りたいと思っております。以上です。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。続きまして、これらの活動を行う上での予算案について、「平成29年度予算案」についての説明をお願いします。

事務局（佐藤）

事務局よりご説明いたします。はじめに、収入の部です。会費収入が5,450,000円、県負担金が400,000円、山形県委託事業「川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務」の委託料が、

今ご説明ありましたが3,236,400円、夢の桜街道積立金より2,500,000円、フォーラム基盤強化積立金より379,000円、28年度からの繰越金が159,492円。諸収入にはこちらは今説明がございましたが、「やまがた社会貢献基金協働助成事業（テーマ希望型）」の助成が430,000円。山形信用金庫様の「東北夢の桜街道寄付金」100,000円につきましては予算書作成時にまだ決定しておりませんでしたので、予算の補正で対応させていただきたいと思います。その他に預金利子など108円で、合計430,108円です。以上収入の合計額は、12,555,000円となっております。次に、支出の部です。運営費が9,100,000円で、内訳は交通費150,000円、需用費450,000円、役員費700,000円、使用料は事務局の賃借料も含めまして600,000円、事務局費は事務局員2名分の給与、社会保険料、雇用保険料等といたしまして7,200,000円を見込んでおります。事業費は3,430,000円で、内訳は①～⑩のとおりです。予備費が25,000円で、支出合計額は12,555,000円です。また、積立金の期首残高につきましては、「フォーラム基盤強化積立金」が2,110,793円、収入の部に計上しておりますけれども「夢の桜街道積立金」2,500,000円です。以上で収支予算案のご説明を終わります。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。これまでの説明について皆さんからご質問、ご意見はありませんでしょうか。

（会場意見なし）

基本的には事業について、できるだけ継続していきたいという形ですが、収支予算の説明にもありましたように、昨年度と比べて2,170,000円の規模縮小しております。これはいろいろ経費の関係もありますが、その影響を受けて、ひとつは「もがみがわ水環境発表会」については例年200,000円で行ってききましたが、行わない。写真コンテストについては400,000円かけてやっておりましたが、隔年開催のため行わない。それから「東北夢の札所88カ所巡り」については500,000円かけていましたが、50,000円に減額。それから「キャンペーン」については、400,000円かけていましたが、ゼロとする。「ゴミ発生源対策」については事業規模を縮小して継続、600,000円減額。こういう形で予算規模の縮小に伴って、本来ならばゼロしたものを継続したいのですが、無い袖は振れないということもありまして、今のような形で対応していきたいと考えております。これらにつきましては、今後財政的なゆとりが出てきたら復活し、今まで以上に活動を広げたいと思っておりますが、財源不足で苦しいものですので、このような形になるということは、ぜひ皆さんからご了承いただければありがたいと思っております。

皆さんから率直な意見を伺いたいのですが、いかがでしょうか。

（会場意見なし）

よろしいでしょうか。特にご意見が無ければ、この第2号議案の平成29年度事業計画案と予算案については、原案のとおり決定させていただくということでよろしいでしょうか。

(会場拍手)

(3) 規約改正

議長（柴田会長）

続きまして、第3号議案の「規約改正」があります。
事務局から説明をお願いします。

伊藤事務局長

それでは3号議案で「美しい山形・最上川フォーラム規約の改正(案)」です。改正内容ですが、規約の第5条及び第7条の一部を改正させていただきます。改正後でございますが、「会費等」が、第5条「個人会員にあっては年額一口1千円（一口以上）、法人及び・・・」とありますが、「一口以上」を消させていただきます。この理由は選挙等で選ばれた方が入会しようとした場合に、一口以上となりますと、いろいろな課題があるということで確定してもらいたいという話がございます。ただ、2口、10口などやりたいという方は、大いに結構だということです。それから、役員につきまして、運営委員の人数が24名を超えるという状況になっておりますので、これを削除させていただきますということです。以上です。

議長（柴田会長）

以上の規約改正についてはいかがでしょうか。

会費について、今説明あったように選挙で選ばれる人が会費を払うのに、今までのような規約ですと、寄付行為に当たる可能性があるということなので、選挙で選ばれる人も他の人と同じように会費を払って参加したいというために、「一口以上」を消すと心配はないということです。改正することとしました。二つ目の第7条の「24名以内」についてですが、運営委員会は我々の活動をする上で重要な会議ですが、これまで24名という形の中で縛りをかけて意見を集約してきました。今までは運営委員には参加していませんが、事業を行う上での集まりで意見を述べさせていただくという形で金融機関の方々とは別途会合を開いておりました。そこでは、4月5月の会員募集キャンペーンについて、一緒になってフォーラムの活動を行うのにどうしたら良いか意見を聞いていたのですが、先ほどの事業説明にもありましたように、会員募集のPRはしますが、啓発物品を配布するなどお金をかけてすることができなくなりましたので、せっかくこれまで金融機関の方々から意見をお聞きしていたものを無くするのはもったいないということで、その方々から運営委員の中に参加してもらいたいと思ひまして、24名の縛りを外して15名以上で運営する形にしました。ですから具体的には役員の名簿に出てきますが、金融機関の方々を入れたいということ、それから県の組織改正があり、新しくもう一人部長さんから参加していただきたいということです。こちらにつきましては次の議案の中で提案させていただきたいと思ひます。そういう趣旨で規約改正を行いますますがよろしいでしょうか。

(会場異議なし)

それでは、第3号議案「規約改正」については、原案のとおり決定させていただきます。

ありがとうございました。

それから先ほど「東北夢の桜街道」の中で、私の方から説明があるのではないかという話がありました。これまで、多摩川フォーラムなどと一緒にやってきた「“美しき桜心の物語”の語り会」については、語り部の平野さんから東北六県全て終わったので今回は最後にしたいということでしたので、この語り会は終わります。これからどういう方向に行こうかということについては、東北夢の桜街道推進協議会の中で議論するわけですが、今のところは「酒蔵街道」、「雪を見る」等で復興のため、インバウンドで外国の人たちが来やすくする活動ができないか、どのようにすればうまくできるかということで、復興の支援は今後とも進めていく予定です。我々とすれば、先ほどお話ししましたが、これまで500,000円を活動資金として提供していましたが、財政的に厳しいので、それができないので、名前だけで会合に参加するなど、一緒になって活動する、気持ちの上では従来どおり、協働的な形で活動を進めていきたいと思っていますところ。よろしいでしょうか。

(4) 役員改選

議長（柴田会長）

続きまして第4号議案について説明をお願いします。

伊藤事務局長

それでは、第4号議案でございます。「役員改選」です。2年に一度の改選でございますので、事務局から提案させていただきます。最後のページをご覧くださいますと、右に○印のついての方が新規ということになります。最初に地域部会の方々から検討していただき、置賜地域部会長に久保様、庄内地域部会長に阿部様。それから、先ほど話がございましたが、県の太田環境エネルギー部長様。いろいろ環境エネルギー部と当フォーラムとの関連が深いものですから、このたび運営委員になっていただくということでございます。それから丸山酒田市長様、後藤飯豊町長様につきましては、市町村の方からある程度順番にやっていただくということでお願いをしたいと思います。それから先ほどお話ありました金融機関につきましては、5名の方に入っております。それから監事につきましては、大場様と佐藤中山町長さんになっていただくということで、ご提案をさせていただきます。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。

第4号議案「役員改選」について今事務局から説明ありましたが、これについて皆さんからご質問、ご意見ありませんでしょうか。

(会場意見なし)

議長（柴田会長）

では、第4号議案の新しい役員改選案については、これに示されたものを持って役員とするということでご了承いただいたということでよろしいでしょうか。

（会場拍手）

決まりました役員の紹介をお願いします。

司会（松本さん）

それでは名簿順に紹介いたします。

（新役員を紹介）

これから臨時運営委員会を開催いたします。臨時運営委員会では会長を互選し、その後会長より運営委員の中から副会長を指名していただきます。

臨時運営委員会をはさむ

（公開）

伊藤事務局長

会長には柴田洋雄さんを選任することに決定されました。柴田会長から副会長を指名していただきたいと思います。

柴田会長

会長を引き続き、務めさせていただきます。副会長については、これまで副会長を務めていただきました佐藤五郎さん、井上みやまさんをお願いしたいと思います。

（会場拍手）

お二人のご同意が得られましたので引き続きお願いいたします。また各部会についてもこれまで活動してきた方々をお願いしたいと思います。基本的には部会長、副部会長はこれまでの体制を進めていきます。それから顧問については吉村知事さんをお願いしていますが、以前、県庁の事務の方に確認しましたところ、継続することに異議がなく、制度上もできるとのことですので引き続きお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

（会場拍手）

このような体制で進めていきたいと思います。

4. その他

議長（柴田会長）

その他に移ります。事務局から報告をお願いします。

伊藤事務局長

会員状況でございます。現在の会員ですが、3,993名で4,000名を切ったということで、我々もショックを受けている状況です。山形県の人口も減ってきておりますが、何とか会員増強を今後とも図っていききたいということでございます。年会費が1,000円でございますので、皆様方の奥様等身近な方からぜひご加入をお願いしたいと考えております。以上です。

議長（柴田会長）

今お話がありましたように、会員数が3,993名で、4,000名を切ったということで非常に残念なのですが、これからも増やしていくよう努力したいと思っています。それから、活動の資金が不足していますので、どうやって増やすかということについて、お話ありましたように企業などから寄付をいただくということもあります。また、まだ検討中ですが、法人会員については、今一つのパターンしかないのですが、特別法人会員で少し会費を高くする形をお願いするような制度が取れないかと思っております。今までと違って新しい法人会員として、多く会費を納めてくれる方については、フォーラムの活動を支援しているという企業のイメージにプラスになるような位置づけで進めると、少しご理解いただけるのではないかという感じがします。そのようなものが取り入れられるかどうかを検討して、少しでも財源の確保に努めていきたいと考えております。

個人の会員については、1,000円を上げるつもりはありません。我々にとっては、1,000円であることが会員を確保するうえで非常に重要なことだと思います。個人会員の会費を上げたらどうかと教えられますが、変えずに頑張っていきたいと思っています。法人会員については、今申し上げた可能性があるか検討していきたいと思っております。

会員のことについて、皆さんから何かご意見はないでしょうか。よろしいでしょうか。

4,000名を切ったことは非常に残念なことですが、これからも頑張っていきますので、皆様のご協力をよろしくお願いしたいと思います。

これで本日用意した議題は全部終わりましたので、議長の職を終わらせていただきたいと思います。

司会（松本さん）

柴田会長ありがとうございました。以上をもちまして、平成29年度美しい山形・最上川フォーラム通常総会を閉会いたします。長時間にわたるご審議、誠にありがとうございました。